

事業概要シート

施策 1601 観光交流のまちづくり

《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	地域活性学会研究大会開催事業	新規	予算額	832 千円
			《 》	0 千円
事業期間	平成31年度 ~ 平成31年度	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
		一般財源	832 千円	

【事業の目的・概要・対象】

(目的)

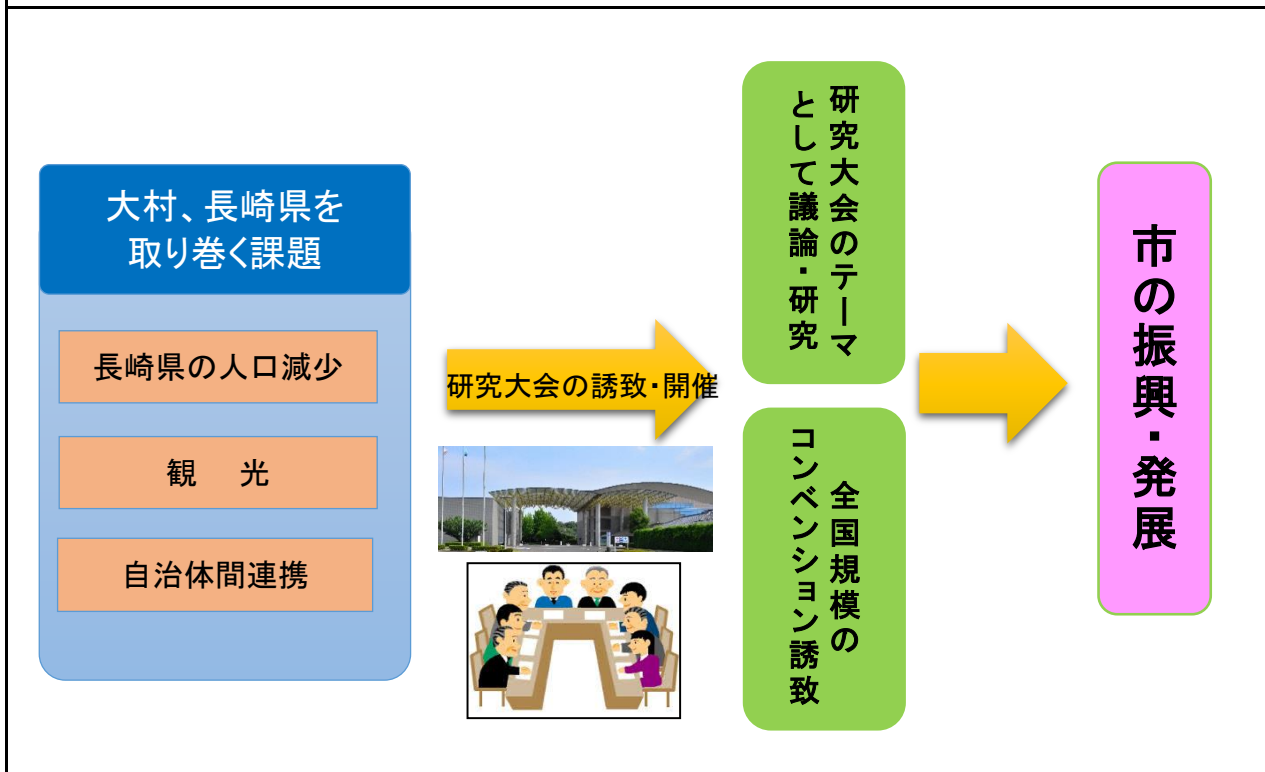
地域活性学会研究大会を誘致・開催し、大村や長崎県を取り巻く人口減少・観光振興・自治体間連携に関する課題をテーマとして議論、研究していただくことで、地域課題の解決を図る。また、全国から本市へ多くの大学関係者、民間事業者、自治体関係者等の参加が見込まれるため、エクスカーションなど体験型の見学を通じ、地域の魅力を肌で感じるシティプロモーションを実施する。

(概要)

大村や長崎県を取り巻く人口減少・観光振興・自治体間連携に関する課題をテーマとした地域活性化学会研究大会を大村市で開催する。

(対象)

全国の大学関係者、民間事業者、自治体関係者等



【背景】

長崎県は、年間1万人のペースで人口が減少しており、U I ターンとともに人口定着のための施策が求められている。また、県内の世界遺産登録やインバウンド客の増加などを本市の活性化に活かしきれていない。

担当課	企画政策部企画政策課	課長	横田良一
担当者	赤瀬雅昭	問合せ先	0957-53-4111 (内線226)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	地域活性化学会研究大会の開催回数	回				1	
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	研究大会参加者の大村市内での延べ宿泊者数	人				400	
②		目標値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	0	832	0	0	832
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				832			832
人件費		0	0	1,454	0	0	1,454
職員(人)				0.20人			0.20人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	2,286	0	0	2,286

妥当性 (市の関与)	全国の行政関係者等が参加する会議であり、地域の活性化など市の振興に寄与するため、市が積極的に関与すべきである。
有効性 (施策貢献度)	地域の課題をテーマに会議を行うため、研究成果を今後の市の取組に活かすことができる。また、多くの関係者が大村市に来ることでコンベンション誘致につながり、施策の推進に貢献する。
効率性 (コスト)	市は開催経費の一部を負担するため、削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価者のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--